

第4章 箱根登山鉄道

第1節 1月10日（月）：強羅～小田原 曇り／晴れ

2022年1月10日（月）曇り／晴れ、箱根登山鉄道（営業キロ15.0km）にリベンジ。この路線は、強羅から箱根湯本までが、2002年9月21日（土）開催の第8回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）で、そして小田原から箱根湯本までが、2001年7月7日（土）開催の嵐山会（フコク生命立命館会）の集合時間前に歩いた路線である。本路線は第38編の”日本横断歩き鉄の旅”PDFシリーズの第38編として予定している。しかし、当時の”小さな挑戦シリーズ”の記録旅日記で点検したところ、日時などの概略メモと写真程度の記録の範疇であったので、本日のリベンジとなった。



※小田急小田原駅



※車窓からの眺め

本日のコースは、昨日、過去のデータを”日本横断歩き鉄の旅”PDFシリーズに落とし込む作業を通じて、急遽思いつき、本日の運びとなった。リベンジとは言え、本年最初の歩き鉄旅となった。加えて、偶然にも本編が、[1,111回目](#)の縁起のいいブログ投稿回数となった。



※小田原駅で第14回リベンジ終了

本日の歩きで強く感じたことは、日本の土木技術の凄さ。すなわち、景観な険しい山道をよくも、高度な土木技術環境のない当時、箱根登山鉄道を開設したものだということ。感服・感動で一杯となった。

一方、小田原から強羅までは、箱根登山鉄道でこれまで何度か乗車したことがあるが、スイッチバックの回数までは記憶になかった。本日3回、スイッチバック回数があることが判明。従って、小田原駅での先頭車両が、強羅駅では末尾となった。50年振りにいい勉強をさせて頂いた。

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

強羅 (9:11) ～彫刻の森 (9:26) ～小涌谷 (9:50) ～宮ノ下 (10:24) ～大平台 (11:00) ～塔ノ沢 (12:10) ～箱根湯本 (12:47) ～入生田 (13:50) ～風祭 (14:12) ～箱根板橋 (14:40) ～小田原 (15:12)



※強羅駅

①自宅を6時半過ぎに出て、強羅駅には9時過ぎ到着。懐かしい光景をデジカメに収め、彫刻の森駅に向けてスタート。箱根登山鉄道の右側に沿って県道723号線を歩く。9時15分、強羅公園入口看板前を通過。9時26分、本日最初の彫刻の森駅に到着。少し歩いた先に彫刻の森美術館（9時30分）があった。2000年6月、両親と共に訪れた懐かしい思い出が蘇る。9時32分、箱根町立箱根中学校前を通過。



※彫刻の森駅への路、彫刻の森駅



※彫刻の森駅、彫刻の森美術館

②小涌谷駅への道筋は、最初の 500m 位は上り坂が続き、国道 1 号線合流（9 時 40 分）。合流地点からは下り坂となる。日影の道筋には、数日前に振った雪の残雪があった。滑らないよう注意して歩く。淡々と歩き、道路下に小涌谷を発見。9 時 50 分、2 台のタクシーが停まっている小涌谷駅に到着。



※小涌谷駅



※小涌谷駅、小涌谷踏切

③9時53分、小涌谷踏切を横切り、鉄道の左側となる。淡々と山道を下る。頻繁に上り下りの路線バスと対面する。10時13分、富士屋ホテル前を通過。国道に沿って商店街が続く。宮ノ下駅の看板を見つけ、300m位あじさい坂通りを上った先に宮ノ下駅（10時24分）があった。粹な立ち寄りしたいようなカフェがあっが、早い時間帯のためパス。



※頭上に車両，あじさい通り先に宮ノ下駅



※宮ノ下駅

④10時37分、前方に上りの電車をキャッチ。10時55分、山神神社前で本日の安全を祈願する。その先に国道1号線に沿って大平台駅（11時）があった。この駅で、9時過ぎ強羅駅で改札口作業をしていた職員Nさんと偶然にも対面する。トレードマークが入った私の帽子を覚えていてくれたらしい。感謝の気持ちで一杯となる。「どうやって来たのですか。早いのでビックリしました」を皮切

りに、大平台駅で数分話す機会を得る。カッシー館についてPRさせて頂く。タイミングを計って、大平台を背景に記念写真を撮って頂く。世の中は実に不思議なものであると強く感じる瞬間であった。



※大平台駅への路、私を守ってくれた”山神神社”





※大平台駅

⑤11時7分、箱根駅伝でよく登場するスピーンカーブ前を通過。11時27分、蛙の滝前を通過。この地点から大平台2km、宮ノ下3kmとあった。11時31分、私の1m位先に丸太ん棒（長さ50cm、直径12cm）が突然10m位上の道路に面した山から落ちて来る。歩道から2m位の地点であり、運が悪いと大怪我をすところであった。胸を撫でおろす。また、車の屋根に当たる可能性もあった。道路に落下した丸太ん棒を咄嗟に撤去してあげる。ドライバーに感謝され、感激する。先程の山神神社に安全祈願をしたのが、功を奏したと思う瞬間であった。



※箱根駅伝に登場するスピーンカーブ



※蛙の滝、部上に箱根登山鉄道



※塔ノ沢駅への路、鶴翁橋を渡って誤った道筋へ



※塔ノ沢駅への路

11時39分、鉄道下を潜り鉄道の右側となる。11時41分、早川を渡る橋辺りでジョギングをしている集団と出会う。11時53分、塔ノ沢バス停の限界で右往左往する。ネットで調べるが道筋がよく分ならず。運よく、通行人の方に尋ねる機会を得る。「早川を跨ぐ鶴翁橋(81歩)を渡ったら行ける」との助言を得る。しかし、この助言は明らかに誤りであった。橋を渡っても行き止まりとなったからである。仕方なく、引き返す。15分位ロスタイムとなる。少し歩いた先で、年配の方に対面する。「少し歩いた先で、塔ノ沢駅に繋がる階段があります。その階段を暫く歩いた先にあります」と教えて頂く。教えてもらった路筋を歩

き、塔ノ沢駅には12時10分到着。この駅は、私が20代の頃、職場の麻雀大会があり、塔ノ沢駅で下車した懐かし記憶が蘇る。しかし、全く道筋についての記憶は消滅していた。塔ノ沢駅への立ち寄りとは本日の区間の中で最も難しい駅であった。



※塔ノ沢駅



※塔ノ沢駅、恵比寿・大黒天前



※弥八恵比須大黒天境内入口、七福神

⑥同じ道を通り、国道1号線に戻る。12時23分、弥八恵比須大黒天境内に入り、七福神をデジカメに収める。12時25分、48歩ある千歳橋を渡る。12時32分、右手にかつて箱根駅伝でお馴染みの函嶺洞門があった。湯本の温泉街を通過して、早川に沿ってある箱根湯本駅には12時47分到着。



※函嶺洞門、箱根湯本の温泉街



※箱根湯本駅



※早川を背景にして、箱根の庵

⑦13時12分、箱根バスなどの車庫前を通過。13時15分、”箱根の庵”で手打ちそばを頂く。25分位休憩する。13時43分、箱根町から小田原市となる。鉄道下を潜り、100m位戻った先に入生田駅（13時50分）があった。



※入生田駅への案内板、入生田駅



※入生田駅、日本橋から 88 km地点

⑧14時8分、”かまぼこ博物館”に立ち寄る。20人位の方がかまぼこの体験学習をしていた。14時12分、風祭踏切を横切って鉄道の左側になった先に風祭駅（14時12分）があった。



※かまぼこ博物館、風祭踏切



※風祭駅、3本レールの跡

⑨14時18分、君田島踏切を横切って鉄道の右側となる。かつては箱根湯本から小田原までは箱根登山電車と小田急電車が乗り入れしていた（互いにレールの幅が異なるため3本）が、今ではこの区間は小田急のみとなり、2本のレールとなっていた。不要になったレールは2本の間にあった。小田急線下を潜り、鉄道の左側となる。箱根板橋駅には14時40分到着。



※箱根板橋駅への路



箱根板橋駅での箱根登山鉄道・ケーブルカー路線図

⑩14時43分、東海道新幹線下を潜る。少し歩いた先で小田急線とJR在来線下を潜る。14時54分、星槎城山トンネル(480歩)を通過。小田原駅には15時12分到着。小田原駅では本日は成人の日のため、晴れ着姿の女性を何人か見かける。小田原15時37分発の快速で自宅へ。



※小田原駅への路



※小田原駅



※小田急小田原駅改札口前、快速急行で家路に

本日は地図を全く持参せずに臨んだが、無事全駅踏破でき、充実した一日となった。本日の歩きで、通算営業キロは1万2千862km（活動日数629日、日本の鉄道の46.4%）となった。

第2節 第8回わいわい会（強羅～箱根湯本）



小涌谷駅

第8回わいわい会(高松一高同窓の歩き会)は、強羅～箱根湯本8.9kmのコースを、平成14年9月21日(土) 天気に恵まれた中で開催した。強羅駅に山田会長をはじめ15名(男性10名、女性5名)の参加を頂いた。途中電車のガイドで次のような案内が印象に残っている。

- ① 高低差445mを8.9kmの道のりで登る。
- ② 3両編成で先頭の車両のヘッドと末尾の車両の後部で3m60cmの落差がある。
- ③ 急カーブは半径30mである。
- ④ 11月3日は毎年大名行列の催しものがある。
- ⑤ 6月の中旬は鉄道沿線に紫陽花が咲き乱れる。

神奈川方面の6名は11時前に急行で駆けつけてくれた。一方、新宿からロマンスカーで9名が、11時10分過ぎに強羅に到着した。聞くところによると、朝から宴会をして来たとのことであった。その他のメンバーも来るかも知れないので少し待ち、出発は11時半となった。700m先の彫刻の森を目指す。彫刻の森で2時間位散策と昼食をとり、14時頃彫刻の森美術館を後にする。500m位登ったところに小涌谷駅があった。後発隊から「下りのところ上るので道を誤っているのではないか」の指摘があった。



大平台駅 箱根湯本駅

今日は終始下り坂なので楽と思ったが、別の筋肉を使い負担になる人もいた感じである。大平台で休憩をとる。わいわい会初参加の1名はこの駅から湯本まで電車となる。湯本には16時20分頃到着する。万歩計は26,311歩だった。

今日はハイキング会との合同のため初参加の人が3名いた。箱根湯本駅で宿泊組と日帰り組で別行動となる。私達7名（岡崎・木内・坂本・樫原・山田・鶴巻・宇賀神）は宿泊組のため、湯河原のエスパ（東芝エンジニアリング保養所）に向う。木下さんとエスパで合流する。18時より宴会。20時よりカラオケ大会。22時より部屋で3次会。大変充実した一日であった。



湯河原のエスパ